

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 片 松 雅 弘 〕

① 研修テーマに即した所感

自治体議会研修所代表の高沖先生による「地方議会の情報発信と住民参画のポイント」というテーマで研修講義を受けました。

議会や事務局・執行部を含めて東員町の為、町民の皆さんの為に活動しています。しかし町民にはその姿は伝わりにくい。伝わっていない。

議員は町民を代表して民意を反映しているのかと問われれば、そのつもりで活動しているのですがその姿は町民の皆さんには映っていないのかもしれない。

かつて私も議会って何をしているのだろうか。ちゃんと仕事しているのかと疑問に思っていた時期もありました。自分自身が議会の中にいると、町民に一番近いと思っている私が解ってきたのだから町民の皆さんも解っているだろうと思いき勘違いをしているのかもしれない。やはり議会と町民の間は遠く、理解されていないのは以前から変わっていません。

町民からの議会に対する風当たりは強く、すぐに議員定数削減・議員報酬減額・政務活動費廃止と短絡的な将来性のない間違った考え方が出てきます。

やはり是正するためには、情報発信、すなわち広報活動を行う事と住民の声を聴く広聴活動を充実させるしかないと思います。

正しい議会の役割・内容を知って頂き、議員の活動は選挙活動のメインの議員ではなく、議会活動のできる議員を知ってもらう事は大切なことだと考えられます。

延期・中止ばかりの語る会・報告会などは、速やかに行ない、きちんとテーマを決めて、町民との接点を増やすことでお互いの役割・活動内容を理解できると思います。そうすると町民からも制度や実態を理解しないままの意見も減ると思います。

語る会や意見交換を行う場合は、学生や子供たちとも参加していただき、形式的なものでなくできるだけ多くの町民をまきこみ、第2弾・第3弾と発展するような進行をしていきたいので、議会運営委員会でできないのなら専属チームを作ってでも進めたいと考えます。

議会として議員としての役割から考えれば、通年制は即取り入れるべきだと思うのですぐにでも議論を始めるべきだと思います。

委員会も2年制になっているので役職も合わせないと委員会のつじつまが合わないし、対外的にも、対行政にも、議会力の為にも、2年に合わせるべきだと思います。みんながやりたいから1年交代とは町民の為にもなりませんし、時代遅れと考えます。

